

# PSS REPORT 2016

## 第31期 中間事業報告書

平成27年7月1日

平成27年12月31日

### ▶ トップメッセージ

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業につきまして格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。PSSの事業進捗についてご報告させていただきます。

#### ■ 事業の成長による社会貢献とは？

バイオ（遺伝子・タンパク質等）診断システムの提供を通じて

事業目的は、「いつでも、どこでも、誰でも」取り扱えるバイオ診断システムの提供を通じて、その診断情報を有効活用する事により、世の中の多くの人々に快適な生活を送って頂く事です。そのため事業領域における強みとして「自動化システム技術」を活かす事、すなわち「バイオテクノロジー」と日本企業の得意とする「ものづくり」を融合して、事業の成長による社会貢献をはたします。

PSSの技術コンセプトは、「シンプル、コンパクト、メンテナンスフリー」の自動化システムです。このコンセプトが、社会に受け入れられたDNA自動抽出装置は、累計1万5千台以上を世界的な企業を通じてOEM供給しました。現在では研究分野だけではなく、感染症やDNA鑑定等の臨床の現場でも利用されるようになりました。

今後PSSが事業の成長により社会貢献できるのは、この実績と経験を活かした応用展開です。すなわちDNA自動抽出技術（Magtration®）を発展させたバイオ診断システム（全自動化装置と一体化した検査試薬）の製品提供を通じて、世界のより多くの人々に、バイオ診断情報の有効活用による社会貢献に関わる事だと考えています。



プレジジョン・システム・サイエンス株式会社  
代表取締役社長

日島 秀二

#### ■ 業績について

第31期（H28/6）第2Q連結累計期間業績について ⇒参照 連結財務ハイライト

第31期第2Q連結業績は、OEM顧客別に好調不調など様々な要因がありましたが、売上高及び売上総利益については、前年同期比で減収減益となりました。一方で、販管費は研究開発費の削減効果等により前年同期比削減しましたが、営業損益の黒字化は達成できませんでした。

しかしながら、エリテック社に供給開始した全自動遺伝子診断装置「InGenius（PSSではgeneLEADXII）」に関しては、順調な立ち上がりとなっており、第31期を通して、当初計画を上回る結果となる見通しであります。geneLEADシリーズは、十分に市場に受け入れられる製品であるとの認識を強めており、当社の将来を支える主力製品と位置づけ、今後も事業展開に注力していく所存です。

#### PSSの提案する診断システム

- 全自動遺伝子診断装置  
geneLEADXII



#### ■ 中期事業計画の進捗について

⇒参照 トピックス

PSSは、遺伝子診断市場のトレンドを捉え事業フィールドを研究開発分野から臨床診断分野へ移行し、製品構成は装置中心から試薬・消耗品ビジネスへの転換を掲げ、3か年の中期事業計画を策定しています。その計画に対する第31期通期見通しは、当初見込んだ前期比増収増益を修正することになりました。しかしながら、大館試薬センター拡張工事の助成金認定や新製品の本格的な販売開始により、事業展開は着々と進捗しているものと考えています。

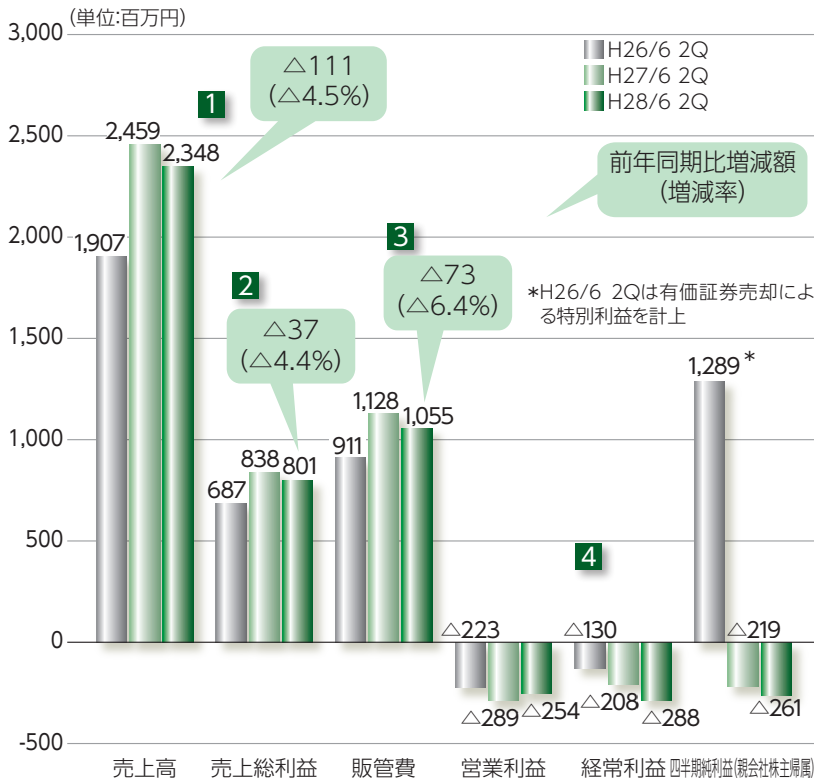
今後は、第31期赤字幅の縮小と来期の黒字化に向けて収益拡大をするべく自社販売を強化するために、国内外の代理店との協力による販売網の構築と製品コストダウンを社内外工場と一体となって注力していきます。

これらの施策を厳格に進めることにより、株主・投資家の皆様の期待に応える成果を着実にみせられるよう事業を推進してまいります。

引き続きご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

第31期(H28/6)第2Q連結累計期間業績について

■当第2四半期連結累計期間の業績は、前年同期比減収減益となりました。



◆第30期 (H27/6) 第2Q業績比

- ▶ **売上高の減収及び総利益の減益**
  - 1 新製品の自社販売開始が若干遅れました。
  - 2 また、試薬・消耗品に関して、アボット社向けの販売が前年同期比増加するものの、計画値ほどは伸ばしませんでした。
- ▶ **販管費は前年同期比削減**
  - 3 主として研究開発費328百万円（前年同期比30.5%減）の削減効果によるものです。
- ▶ **当第2四半期の業績は期初の見通しを上回る損失を計上しました。**  
為替差損21百万円が発生しました。

●PSSの目指すバイオ診断分野

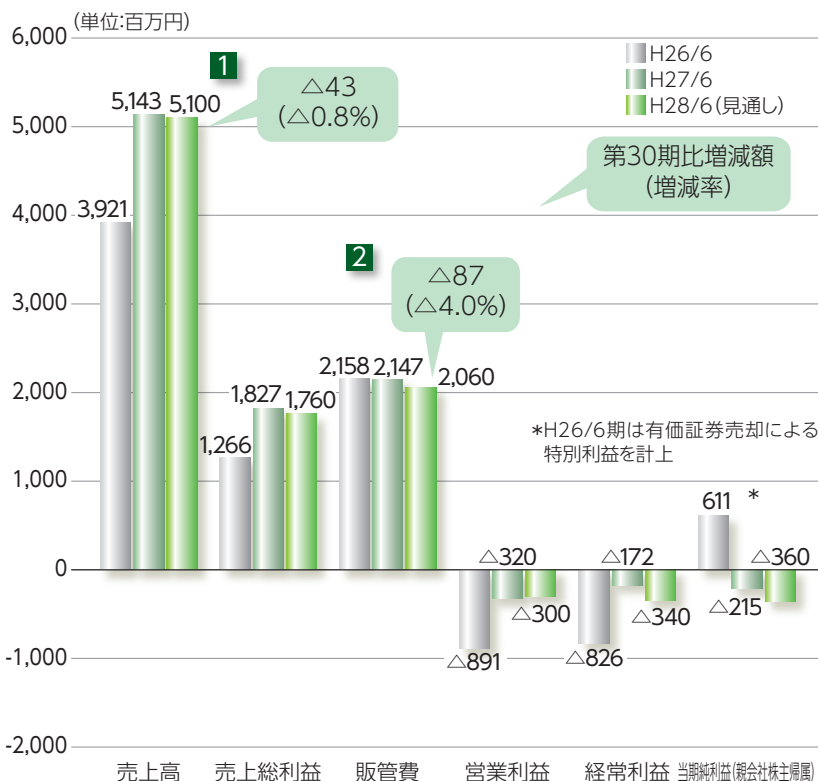
更に詳しい内容のPSSHPコンテンツ

PSSWebサイト>早わかりPSS



第31期(H28/6)通期連結業績見通しについて

■第31期通期業績は、期初予想比減収減益なるも前期同様の業績を見込んでいます。  
■なお、為替の見通しは、1ドル=120円、1ユーロ=130円にて算定しております。



◆第30期(H27/6)業績比

- ▶ **売上高対前期比微減**
  - 1 ① エリテックグループとの提携によるgeneLEADの販売展開は期初予想以上の見込みです。(DNA抽出試薬含む)
  - ② アボット社の検体前処理装置は、ここまで順調な出荷を続けてまいりましたが、第31期下期に関しては、出荷ペースが大きく減少する見通しです。
- ▶ **販管費対前期比削減**
  - 2 想定以上の開発費計上もあり、前期比削減なるも期初に予定した費用抑制は難しい見込みです。

更に詳しい情報は？

PSSWebサイトより  
投資に関する説明会開催状況について  
(平成28年2月26日)

▶ PSS決算説明会資料

## ■ 今後の見通しについて

### 第31期(H28/6)赤字幅の縮小と来期の黒字化に向けて

#### ■ 売上拡大のための自社販売を強化

MagLEAD (DNA自動抽出装置) やgeneLEAD (全自動遺伝子診断装置) を中心として、更にDNA抽出試薬 (将来的には診断用試薬の提供も視野に入れる) をセットで販売を行い、国内外の代理店との協力による販売網を構築します。

#### ■ 製品コストダウン

製造工場であるエヌピーエス(株)や大館試薬センター、更に外注先の工場と協力し、PSSと一体となって製品コストダウンに注力します。

## ■ 大館試薬センター拡張工事について

- ELITech社向け及び自社販売のDNA抽出試薬だけではなく、Abbott社向け試薬製造も担当する見込みです。
- 3年後の受注状況を見据えて、拡張工事に着手する予定です。

「あきた企業立地促進助成事業補助金の指定」について  
(平成28年2月3日)

このたび「PSS大館試薬センター拡張事業」は、補助金の交付対象事業となりました。



拡張工事完成イメージ図



作業風景

## ■ 自社製品販売について

✓ PSS核酸抽出試薬「MagDEA Dx SV」のCEマーキング\*取得について  
(平成27年10月22日)

✓ PSS全自動核酸抽出システム「magLEAD 6gC」、「magLEAD 12gC」の  
CEマーキング\*実施と販売開始について (平成28年2月22日)

従来のPSS抽出試薬で対応できなかった多種類の検体\*\*から、臨床用途の遺伝子診断を行う上で必要とされる高品質な核酸を短時間で抽出することが可能となりました。

\* EU (欧州連合) 加盟国に製品を流通・販売するための国際的な制度です。

\*\* 血液、血清、血漿、尿、CSF (脳脊髄液)、スワブ (綿棒で集めた細菌検査用の分泌物) などの臨床検体



magLEAD 6gC



magLEAD 12gC



核酸抽出試薬「MagDEA Dx SV」



商号：プレジジョン・システム・サイエンス株式会社  
(英文社名)：Precision System Science Co., Ltd.

設立年月日：1985年7月17日

役員：代表取締役社長 田島 秀二  
常務取締役 秋本 淳  
常務取締役 池田 秀雄  
取締役 古川 昭宏  
取締役 カール・ヒルカー  
取締役 上田 哲也  
取締役\* 團野 達郎  
監査役\*\* 平山 伸之  
監査役\*\* 荻原 大輔  
監査役\*\* 山川 善之  
(注) \*社外取締役 \*\*社外監査役

資本金：2,972百万円

従業員数：195名

(注) 従業員数は就業人員です。(派遣社員、パート等を含まない)

連結子会社：Precision System Science USA, Inc.(米国)  
Precision System Science Europe GmbH(ドイツ)  
ユニバーサル・バイオ・リサーチ(株)(千葉県松戸市)  
PSSキャピタル(株)(千葉県松戸市)  
バイオコンテンツ投資事業有限責任組合(千葉県松戸市)  
ジェネティン(株)(千葉県松戸市)  
エヌピーエス(株)(秋田県大館市)

事業内容：バイオ診断システムメーカー  
遺伝子・タンパク質関連業界における研究施設(ラボ)の自動化や臨床診断分野向けの各種自動化機器の開発及び製造販売、並びにそれら機器に使用される研究用試薬や診断薬、プラスチック消耗品の製造販売等

株式の状況

STOCK INFORMATION

発行可能株式総数 68,480,000株  
発行済株式の総数 20,756,900株  
株主数 11,016名

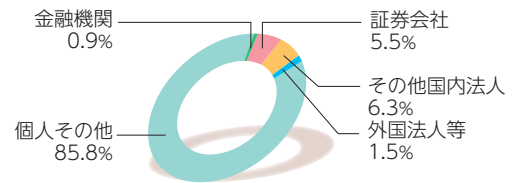
大株主 (H27/12末現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
田島 秀二	4,549,200	21.9
(有)ユニテック	1,200,000	5.8
(株)SBI証券	235,700	1.1
高橋 計行	197,000	0.9
高山 茂	182,800	0.9
日本証券金融(株)	143,400	0.7
楽天証券(株)	141,800	0.7
松井証券(株)	135,200	0.7
マネックス証券(株)	132,885	0.6
いちよし証券(株)	131,100	0.6

株主数推移(名)



所有者別保有株式数



株主メモ

SHAREHOLDER INFORMATION

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで  
剰余金の配当基準日 期末配当金 毎年6月30日  
中間配当金 毎年12月31日  
定時株主総会 毎年9月  
単元株式数 100株  
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
公告方法 電子公告 (http://www.pss.co.jp)  
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。

お取扱窓口 証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取次いたします。なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。

お問合せ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部  
フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

お取扱店 みずほ証券 本店、全国各支店および営業所  
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。  
みずほ信託銀行 本店および全国各支店  
※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

未払配当金のお支払い みずほ信託銀行 本店および全国各支店  
みずほ銀行 本店および全国各支店  
(みずほ証券では取次のみとなります。)

PSS IRメール配信のご案内

PSSでは、個人株主・投資家の皆様とのコミュニケーションをはかるため、Eメール配信を行っております。プレスリリースや会社説明会のご案内等を、オンタイムでお知らせしております。

PSSWebサイト>Q&Aお問い合わせ>PSSIRクラブからメールアドレス登録ができますので、是非ご登録ください。

(将来の見通しに関する注意事項)

本事業報告書では、当社グループの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は、述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。

